

6. 市民意向に関するアンケート等における自由意見

(1) 市民アンケート調査

<公共交通の必要性>

地区	年齢	意見
新横江	30歳代	市内全体が自家用車で移動するのに便利すぎて、子どもやお年寄りなど車を運転できない人のためだと感じる。
神明	20歳代	ちょっと福井市内まで行くのにも交通手段が車しかない場所なのでバスを増やしてほしい。
神明	40歳代	交通弱者の人々などの外出には必要不可欠であり、一般人も必要に応じて利用するので時間や場所等、便利になってほしい。
神明	65～74歳	現在は自家用車を離せないが、近い将来には絶対公共交通は必要になる。
立待	40歳代	福井県は共働きが多く、仕事帰りに子供の迎えや買い物に行くため、公共交通を利用することは難しい。しかし、高齢者や学生にとっては、公共交通は大事なものである。高齢者や学生が安心して利用できるように、公共交通を維持しないといけない。そのため、市民が積極的に公共交通を利用するように努力する必要がある。
吉川	65～74歳	学生、働く者の便利のよさを考慮すればOK。
豊	65～74歳	6,100万円の税金の使用は無駄だと思う。高齢者は病院やスーパーで買い物をするために利用する。病院、スーパーが送迎を行う工夫も必要。
北中山	65～74歳	学生と高齢者にとって不可欠のもの。より利用しやすくなるように切望する。
河和田	60～64歳	いずれ運転できなくなった時など公共交通は必要なので大切だと思う。 赤字になろうとも公共交通は継続すべき。個人ではできないので、公共交通だと思う。

<公共交通への転換>

地区	年齢	意見
鯖江	20歳代	車を運転する仕事のため、公共交通機関を利用することは、プライベート以外ではほとんどない。自家用車は絶対必要。
鯖江	20歳代	時刻表に合わせて1日の予定を組むのは面倒。待ち時間が長いのは不便。
鯖江	30歳代	数回しか利用していないが、現在のつつじバスを積極的に利用したいとは思わない。今の路線や便数に問題がある。特に河和田など市街地から外れた場所が不便。
鯖江	40歳代	田舎は車社会なので難しいと思う。しかし運転できなくなったときには公共交通に頼らざるを得ないので今からでもマイカー通勤を規制し、慣らす必要があると思う。
鯖江	40歳代	自動車に乗れなくなった場合には、公共交通を使うようになると思う。
鯖江	40歳代	公共交通を利用することでメリットがあれば、利用する人も増えると思う。
鯖江	50歳代	自家用車の交通量を減らすためになるべく自転車を利用している。自転車は制約されずどこへでもいけるので公共交通を利用することはなかなか難しい。
鯖江	50歳代	都会のように公共交通が充実していれば車から転換してもよいが、本数が少ないと移動に時間と費用がかかり過ぎる。結局、歩かないと帰れなくなるので自家用車を利用することになる。もう少しバスの整備があれば助かる。 たとえば、駅や大手スーパーなど買い物ができるところへ行けるくらいでも助かる。
鯖江	75歳以上	運行経費や人々の生活のあり方の変化など難しい面があり、思いつかない。
新横江	40歳代	利用者数とのバランスがとれていない。今さら公共交通の充実について議論するのはナンセンス。高齢者や身障者に対しては別のサービスを検討すべき。

地区	年齢	意見
新横江	50歳代	公共交通のビジョンを明確に示すべき
新横江	65～74歳	今はまだ健康で車で移動している。この先、体が不自由になれば公共交通を利用しようと思う。このため、少しずつ公共交通を利用していく必要がある。
神明	20歳代	利便性を考慮すると、自家用車が一番。他のことでサービスを検討する必要がある。
神明	30歳代	通勤において駐車場がない等の理由により公共交通を利用することはあるかもしれないが現状では考えられない。福井は車がないと不便である。
神明	30歳代	福井県は自家用車の保有が当たり前で、公共交通に力が入っていないと感じる。車がなくても不便でない県にするのは大変だと思うが、住む人間も協力するので頑張ってほしい。
神明	40歳代	週に3日坂井市に自動車で行き来する必要があるため、公共交通への転換は難しい。北陸、鯖江は冬に雨、雪が多いため車での移動が便利。観光スポットを結ぶ路線がJRから出ていると利用しやすい。
神明	60～64歳	鯖江は、自動車の移動でなければ生活に支障がある土地柄。また共働きの多いところで時間に追われている。 高齢者や障害者に便利な交通網にしてほしい。 新幹線が通過してしまう市なので、観光面で魅力的なところになるとよい。新幹線を降りてからの交通の便の充実も欠かせない。
神明	65～74歳	福井での行事、飲み会などのときは、福武線を利用する。まだ65歳なので免許は必要。スーパーの買い物など荷物があると車は便利。
神明	65～74歳	生活に余裕ができれば、公共交通でゆっくりとした地球にやさしい生活をしたい。
神明	75歳以上	自宅から駅まで歩くと20分以上あり、大変。福井、武生の病院に行くにも自家用車が便利。県立美術館などへは、車に歩行補助機を載せて行く。車はなかなかやめられない。
神明	75歳以上	費用のことはあると思うが、市民各層の意見を徹底的に集約して、将来性も考慮し、多少過剰でもサービスを実行すべき。ロコミやマスコミ等が取り上げれば鯖江市の人口増につながる。公共交通のみで損得を考えるのではなく、鯖江市発展のひとつの手段として考えるべき。その結果利用者増になり、事業も改善される。
中河	40歳代	会社の近くまで直行で行けるバスがない。電車の駅も近くにないので、利用はむずかしい。
中河	40歳代	公共交通はもっと便利になってほしいと思うが、反面、自家用車を利用する便利さに慣れてしまっている。もっと公共交通が便利になれば車も利用しなくなるかも。
中河	60～64歳	5年後高齢となったときはとても必要性を感じると思う。デマンド方式は節約できてよいと思う。
立待	30歳代	時間が合わない、料金が安い。
吉川	40歳代	今の鯖江市では自家用車がないと大変不便で、車のない高齢者のみの家庭では生活もままならないと思う。つつじバスも乗り継ぎが難しく、正直目的地までたどり着けたとしても往復はできない。電車をまったく利用しないので駅よりも介護施設や知人宅、専門病院への往復ができればよい。
吉川	40歳代	交通網を整備すると余計に人は大都会へ流出するのではないか。 ※日帰りの出張や1日ツアーなどにより、まずはそのための政策を…。
吉川	50歳代	金沢出身だが、福井の交通の不便さには驚いた。自家用車が各家に一人一台という話を聞いて運転免許を取ってこちらへ来たが、実家では考えられない。 交通機関の不便さはもう当たり前で、意識を変革するのはなかなか難しいと思う。
吉川	60～64歳	定年後に移動の手段にしたい。スーパーへの買い物の足としたい。 JR直行便が多くなるとよい。
吉川	65～74歳	今は自家用車を利用している。今後は高齢になるにつれ、公共交通を利用する頻度が多くなると思う。

地区	年齢	意見
豊	40歳代	実際車がないと生活できないため高齢にならないと利用するのは無理。利用者が少ないなら車両を小さくするくらいしか考えられない。
豊	40歳代	公共交通をこれからもっと利用するには市民の意識を変える必要がある。これからの交通公害防止のため、公共交通を利用していきたい。
豊	50歳代	自家用車を利用できる間は仕事や買い物など公共交通への転換は考えていないが、年をとったときには必要になると思う。お店によって買い物バスなどを利用できる場所もあるのでいろいろな店舗と公共交通で連携していくとよいと思う。
豊	50歳代	現在、公共交通をほとんど利用しないので公共交通に関する改善すべき点について考えにくい。福井県の自家用車保有の多さから考えると、若年層の公共交通の利用は少ないと思われる。高齢層の人は、公共機関（病院、市役所等）に向く機会が多いので、つつじバスでいえば午前の便を増便するとよい（午後の便を減らしても）。タクシー料金などの補助等を考えてもよいと思う。
豊	65～74歳	運転ができなくなったときには体力がなくなり認知症になりかけたときだと思う。そんな状態で駅やバス停まで自力で移動できないと思う。タクシーの割引券があるとよい。個人負担は必要（受益者負担）。
北中山	65～74歳	一度も市のバスに乗ったことがないが目的地に行くために乗換えをするのが苦手ですぐ自家用車を使ってしまう。
河和田	30歳代	病気や怪我、または高齢になり、運転ができなくなった時には、やはりバスや電車など公共交通を利用すると思う。自家用車は、確かに楽だが、公共交通の存続のためなら、月に数回利用し、協力する。
河和田	60～64歳	現在住んでいるところは、公共交通だけでは不便で、自家用車が足となっている。運転ができなくなるまでは、公共交通の利用は無理。利用するには、公共施設へのアクセスを増やしてほしい。バスを小型化し、乗車は指定場所、降車は自由とはならないか。（タクシーのように）
河和田	65～74歳	車社会に慣れ過ぎているため、公共交通への変更は考えにくいし、高齢になると出かけるにしても出かけるににくい体になり、家族（息子）にお願いすることになると思う。

<新幹線、並行在来線>

地区	年齢	意見
鯖江	40歳代	現在のJRは、鯖江-福井間の普通列車は割と便利である。より遠方は快速などがいないため、不便。大阪、京都、米原のように新快速のような列車は必要。北陸新幹線の通過により、第三セクター化するなら、なおのこと必要になる。
鯖江	50歳代	現在のサンダーバード、しらさぎといった特急の本数が減ると関西からの出入りも減ることになる。今より不便にならないようにしてほしい。
鯖江	60～64歳	並行在来線になるとなぜ特急が走らないのかわからない。不便になる。
鯖江	65～74歳	北陸新幹線敦賀まで開業後、並行在来線の充実を望む。
鯖江	65～74歳	新幹線開通で鯖江市民にはよいことは一つもない。不便になるばかり。 <要望> ①JR鯖江駅を中心とした交通機関の整備、②鯖江駅に特急を止める、③新快速を止める ④鯖江駅の整備（駐車場、駐輪場）
鯖江	65～74歳	新幹線のよいところは何もなし。現在以上に中高年、青年、子どもが利用しやすくしてほしい。
鯖江	65～74歳	大阪・名古屋方面への乗り継ぎが敦賀となると不便になり時間もかかる。北陸新幹線はやめてもいい。

地区	年齢	意見
鯖江	65～74歳	北陸新幹線が開業しても京都、東京への接続が不便になると困る。北陸新幹線開業は必要ない。
鯖江	65～74歳	新幹線については、鯖江市にメリットなし。
鯖江	65～74歳	今は仕事を続けているので、自家用車なしは考えられない。新幹線が開通することによって、今までより不便になるのは我慢できない。きめ細かな配慮を望む。仕事をリタイヤしたら公共交通を利用する。
鯖江	75歳以上	今後高齢になる一方。その高齢になったときのことを想像すると、並行在来線の快速列車は、金沢から北陸新幹線に乗り換えるなら金沢-敦賀間がよいと思うが、距離が長くなると本数が少なくなるのではないかと。
鯖江	75歳以上	在来線について、北陸域内の交流のためにも、最低でも敦賀-金沢間に快速電車を走らせてほしい。南越駅へのアクセスについて、鯖江駅発とするよりも神明駅→鯖江駅→南越駅とするのがベター。
新横江	75歳以上	特急、急行もない鯖江駅にものすごく不安を感じている。今より不便になると心配している。
神明	15歳以上	北陸新幹線は要らないと思います。在来線を残すべきです。
神明	40歳代	新幹線が通っても特急は止まらなと聞いていた。年に数回しか利用しないので、利便性のよい特急が鯖江に停まってくれる方がよい。どうして膨大な費用を使って不便な新幹線を通すのか。福井県に新幹線が通っても福井県が活性化しないとお客はすぐに途絶えてしまう。
神明	40歳代	高齢の親が金沢や名古屋に在住。特に金沢から来る交通の便が分かりやすく、往來がしやすくなると助かる。
神明	40歳代	北陸新幹線よりもびわこ線新快速で京都、大阪、神戸に安く行けるとよい。
神明	50歳代	先日JRで鯖江から富山まで行ったが、金沢から先が第三セクターに変更になっており、乗車料金も分からない。詳しい情報も分からない。金沢での乗り継ぎがたったの4分ばかりとお年寄りには絶対乗り継ぎが難しい状況だった。新幹線が通ったばかりに北陸管内を移動するのが大変になるのはおかしい。便利になるどころかとんでもなく不便になった。もっとJRと連携して利用者が困らないように親切に対応すべき。便も増やすべき。
神明	50歳代	北陸新幹線は、鯖江市の住民にとって何のメリットもない。金沢駅止まりで十分である。敦賀まで延びたら、鯖江から大阪や名古屋、東京に行くのが不便になるのは明白だ。
神明	75歳以上	名古屋・山梨に行くことがあるため、米原まで快速が必要。
中河	50歳代	新幹線が開通しても今までの特急の本数は確保してほしい。
吉川	65～74歳	夕方通学帰りの18時から19時の並行在来線は本数の確保を望むが運行経費を抑えること。
吉川	75歳以上	北陸線の本数が少なくなるといううわさを聞き、大変さびしい思いがする。私たちは鯖江駅を今までどおり使いたい。大変不便になりそうでとても不安。
吉川	75歳以上	並行在来線を強化し、福鉄（武生⇄福井）を廃線にすべき（バス運行に移行）。
北中山	60～64歳	並行在来線を並行して走る福武線との両方への支援策は無理ではないか。新幹線駅の福井、南越駅の駐車場の確保を求む。
河和田	65～74歳	敦賀よりの快速列車を福井からにしてほしい。または、敦賀での乗り継ぎをよくしてほしい。
河和田	65～74歳	JRの利用は年に数回のことなのであまり何も思わないが、現在より不便になりそうに思う。今後マイカー利用ができなくなった時のことを考えると買い物等も含め生活が変わる（不便になる）と思うと不安になる。

<サービス水準>

地区	年齢	意見
鯖江	20歳代	運行本数を増やす。
鯖江	30歳代	市町村をまたぐと市内のみに比べ料金が大きく高くなる。また、1時間に1回未満と少ない本数では乗りたいときに利用できない。買い物に行くときには持ち物を持って歩かないといけないため買い置きができないので任意的なサービスを。以上の点から市内バスと同等くらい料金を安く、本数を多くすることが必要だと思う。都会のように5分待てば次のバス・電車が来るなら待てるけど、20分も1時間も待つわけにはいかない。
鯖江	30歳代	福鉄、JRどちらも本数が少ないので乗る気にならない。
鯖江	30歳代	もっと乗ってもらうには頻度を高める必要があるが費用対効果が見込めない。
鯖江	40歳代	都会並みとはいわないが、もう少し本数を増やしてほしい。
鯖江	65～74歳	都会や人口の多い市と違って公共の交通機関を利用する人が少ないので運賃が高い。この二つの要素が悪循環して便数が少ないので確かに不便。自分で時間を合わせて利用していけばよいと思う。個人の都合ばかりいっていたのでは何も解決がない。改善すべきところはする、現状維持の部分は理解して対応するようにしてはどうか。人口が減少しているのは事実。高齢者の割合も高いのも事実。おのおの自分でできることを取り組む方が現実的だと思う。
神明	15歳以上	JRの本数を増やすことにより利用しようという気持ちが生まれる。本数が少ないため親の送迎を優先してしまう。
神明	30歳代	自家用車に慣れているとバスや電車は不便にしか思えない。バス停までの距離は歩いて5分ぐらいだが、車を所有する者にとっては、「5分くらいなら車で行く。」となる。電車の駅はバス停よりも遠く、より利用したいとは思わない。待ち時間も都会のように5分に1本くるならまだしも30分に1本なら、待ち時間の間に自家用車で目的地に着いてしまう。
神明	30歳代	地域のどの人々に視点を当てて、利用数を多くするかを検討すべき。
神明	40歳代	福井市の「すまいるバス」のようにどの時間帯に乗っても分かりやすいように1時間に1本でも2本でもよいので分かりやすい時刻表にしてほしい。これから高齢になっていくに当たり、公共交通機関の接続に待ち時間がないように考えていくべき。利便性がよくなることには使用は難しい。公共施設が点在しているので、自家用車を使用しなくても利用できるよう工夫が必要。
神明	50歳代	駅から駅への公共のバスの便を増やして便利にしてほしい。
神明	65～74歳	現在で十分です。
中河	15歳以上	JRが1時間に1本は少ない。
中河	20歳代	運行本数を増やす。
立待	50歳代	運行本数が少なすぎて待ち時間が大変。移動に時間がかかり、乗り遅れると待ち時間が大変。電車など、聞きたいことがあっても駅員がいない。バス停が遠すぎる。
北中山	60～64歳	デマンド方式も含めて交通弱者への臨機応変の対応。たとえばご近所ネットワークへの補助などのあり方を考えてはどうか。
北中山	65～74歳	公共交通機関は運行本数やダイヤ編成を便利にすれば利用者がもっと増えることは間違いない。

<乗継の利便性>

地区	年齢	意見
片上	40歳代	バスとJR、福鉄との乗継がスムーズにできるとよい。 停留所は民家の近くにない。高齢者には利用困難。
立待	40歳代	つつじバスは、乗継を分かりやすくし、メリットをもっとアピールするとよい。
吉川	40歳代	JR、福武線とつつじバスの乗継をよくする。 つつじバス乗場の整備（雨よけなど）。
吉川	50歳代	乗継がスムーズで、もっと本数が多いとよい。
吉川	60～64歳	つつじバスからJR福井駅への連絡がうまくいくといいと思う。（待ち時間が長い。）
河和田	20歳代	全体的に見てJR、つつじバスともに本数が少なく日常的に使うには不便である。また、両者のつながりが薄く、JRとバスの乗り継ぎがうまくいかないことも少なくない。現状では少ない本数から時間が制約されてしまうことが多くなるので自家用車の使用が多くなるのは当然である。

<通勤・通学対応>

地区	年齢	意見
新横江	40歳代	学生も使えるように朝早い時間、夕方から夜の時間を増やしてほしい。
神明	30歳代	通学・通勤の時間帯の利便性の確保 日中の利便性の確保
片上	40歳代	中高の通学のためのスクールバスがあれば収入にもつながり、親も子も助かる。学校までの距離があり、自転車、車でしか行けない。冬期だけでもあればと思う。（現在、冬期のみ送迎バスがあるが、人数割りで費用も高く、利用が少ないことから、結果、自家用車の送迎になっている）
吉川	30歳代	引越し先を検討した際、つつじバスの運行表を見たが、通勤通学に利用できる時間がなかった。また、バスは地区を巡回しているので、他の地区に行けないのも不便。 神明駅から東西南北があると思うが、東と南に区切って大きく地区をまわるバスもあるとよい。
吉川	65～74歳	中学生の利用には、運行時間の配慮が必要。午前8時頃に1便増やすとよい。午後は4時頃に増便。午前、午後とも4便とすれば利用しやすい。分かりやすい時刻にするため、同一分にする。
豊	40歳代	つつじバス 料金を変えずに、冬季だけでも運行本数を増やせないか。通学の時間帯にない。親の送迎ができない時もあり、非常に不便。JR鯖江駅前、西鯖江、福武線前が送迎の車で時間になると複数台停まっている。母子家庭では、冬季、母以外に子供は頼る人はいない。
豊	65～74歳	通勤者や学生の利便性を高める。
北中山	50歳代	免許がないので自転車で通勤している。雪が降ると自転車が使えずとても不便。以前はバスが利用できたが、廃止となった。
河和田	40歳代	中学校のスクールバスの代金が高くなっている。子供たちは車を運転できない。親は仕事などで送り迎えができないこともある。学校の通学時間帯に合わせたバスの運行を増やしてほしい。雪の降る冬の間だけでもよい。子供をもつ親の負担を少しでも減らしてほしい。

<利用促進策>

地区	年齢	意見
鯖江	30歳代	駅など公共交通に乗る場所に駐車場を増やすべき。
鯖江	40歳代	収益を上げられる公共交通機関での事業。 全国からコアな人が集まるような、マイナスをプラスに変える視点、話題づくりが必要。 例 北府駅とソフトバンクのコラボ。カメラファン、トリテツの集まりたくなる空間。古い町並みの保存。

地区	年齢	意見
鯖江	60～64歳	つつじバスは孫が好きで市内の移動によく利用する。パンダの絵も描かれていて子どもにはとても関心のあるデザインなので子供向けのサービスやイベントがあれば親や祖父母でも利用する。
鯖江	75歳以上	鯖江のつつじバスに該当するものが近隣の市町にもあると思うが、それらのバスと市境の停留所でドッキングできると行動範囲が広がる。
鯖江	75歳以上	公共交通を支えるには、 1. 福井鉄道乗車割引券全戸に配布 2. つつじバスは遠方直行バスを計画する 3. JR鯖江駅のエレベータを早くつくる 4. 道の駅西山公園は、観光会社の旅行プランに組み込むようにする 5. 鯖江グルメ計画を年2回計画し、人が多く集まるイベントを計画する 6. 若者が好むイベントを行う
新横江	30歳代	お試し乗りがあると利用者が増えるのではないかな。
新横江	30歳代	つつじバスのつなぎ、本数がなく利用しづらい。使う人が少ないからだろうが、利便性がよくないと利用は増えない。
新横江	50歳代	改めて路線図を見た。なかなか要所をおさえていると思う。仲間や子どもとつつじバスツアーをしても面白そう。
新横江	50歳代	大型バスに頼らずジャンボタクシーなどを活用して自宅から目的地まで行く方法を検討すべき。必要な経費の半分は自己負担とするものよと思う。100円は安すぎる。
新横江	無回答	無料駐車場を増やしてほしい。
神明	75歳以上	バスは小型化して本数を増やす。目的地への直通などを工夫するとよい。
神明	20歳代	必要とされる路線、時間 乗ってみたいと思う新しいデザイン バスが走っている姿が絵になるような便利なものになってほしい
神明	30歳代	運転手が安全に運転してくれるか不安に思うのであまり乗りたくない。
神明	40歳代	高齢者や子供たちが利用しやすく分かりやすいバスやルート、JR、福鉄、バスの乗継等を改善すると利用者は増える。 家の近くにバス停はあるが、運行時間が遅いため、通勤、通学に利用できない。 鯖江駅や北鯖江駅などを発着し、小学校区単位で地区を循環するバスルートがあるとよい。
神明	50歳代	公共交通機関等についてのよさや便利さなどをもっとPRしてはどうか。
神明	50歳代	コミュニティバスを時間帯によってマイクロバスのような小型にすべきでは。また、バスに観光地の情報を掲示して日中は観光客に利用してもらってはどうか。うちの親は80歳を過ぎ、足腰も弱くバス停に行くにも、目的地に着いても、そこから歩かないといけない。やはり、車を利用することになる。もっと高齢者が安心して利用できる工夫をしてほしい。(どこからでも手を挙げて乗れる、声を出せば降ろしてもらえるなど)
神明	60～64歳	各家庭の自家用車の台数を減らす。 自家用車の乗合運動を徹底する。 ノーカーデーをつくり、公共交通用のチケットをサービスする。 スタンドやコンビニでノーカーデー用のチケットを販売する。 ノーカーデー用のチケットで米やタバコ、酒が購入できるとよいのではないかな。
神明	65～74歳	事業所と連携して通勤に公共交通を使用した者のみ通勤手当を出すことにして公共交通の利用を増やすことが必要。
中河	20歳代	地下鉄をつくる。まず鯖江駅までが遠い。

地区	年齢	意見
中河	65～74歳	①公共交通利用度をあげるために地域のニーズを把握する。 ②利用状況による運行を工夫する。 ③通勤通学にもつつじバスが利用できるようにする(学校や企業との連携を密にして) ④5～10人の希望者で自由に運行できるバスもできるとよい。(自己負担で)
片上	20歳代	都会のようにバスや電車の本数を増やすべき。最近の若者は経済的負担がかかるので車に乗りたがらない。仕方なく車を運転している人も少なからずいると思う。県内の人口減少の理由の中に都会への人の流出がある。これは都会の方が便利で生活しやすいと考えている人がいるからではないだろうか。実際に私も公共交通機関が発達している関東での就職を考えている。鯖江の公共交通機関が発達しない限り帰ってくることはない。バスや電車の本数が増えれば若者もUターンし、活性化に繋がるのではないか。
片上	30歳代	公共交通の前に利用する公共施設が少ないと思う(主に本町)。近年はサンドーム福井でのイベントも多く、他県の人が利用しやすい交通手段が増えるとうい。
片上	50歳代	町内や町内の班ごとに公共交通機関を利用し、買い物や風呂などの施設を利用する日を決め、みんなで楽しみ助け合いながら行動を共にする。
立待	65～74歳	加齢による影響をベースにした諸政策を実施してほしい。
吉川	30歳代	本数、駅を増やすという意見が出ると思うが、経営を圧迫するだけとなるため、まず、住民の意識を変える必要がある。
豊	50歳代	富山市を参考に「損をして得を取る」大胆な施策を実施する。(鯖江市中心市街地も活性化させながら税収も増やせるように方策)⇒県単位の施策になってしまうかもしれないが。
豊	50歳代	運行数を増やす。金額(市の負担)はある程度は仕方ない。
豊	65～74歳	待ち時間を短くしてほしい。フリーバスもよい。
豊	65～74歳	営業を行う。つつじバスで菊人形や陶芸まつりなどに行ける便を出す。広告して、運賃は高めでもいいので、利益が出るものにする。 サンドームのコンサートでも、有料のシャトルバスを出す。 つつじバスを各行事にあわせて、有料のシャトルバスとして使い、従来通り維持できるように工夫する。
北中山	20歳代	高校生の時は時々利用したが、本数が少ない。
河和田	40歳代	ストップ温暖化と公共交通活性化のためにも企業と地域が一体となって通勤通学での利用促進を図る。例えば、公共交通機関の利用回数に応じてなんらかの特典(ポイント制にしてポイントがたまればお買い物券になるなど)を得られるような仕組みづくりも利用促進に繋がるのではないか。
河和田	40歳代	イベント時のサンドーム周辺の混雑がひどい。イベント時はタクシー・バス専用道を設定してはどうか。

<利用環境>

地区	年齢	意見
鯖江	30歳代	福鉄の古い車両はベビーカーなど子供がいると乗りにくい。子供がいても乗りやすい車両だと利用回数が増える。
鯖江	65～74歳	足が不自由なのでバスなどは利用したくても利用しにくい。足が悪くても乗り降りできるバスがたくさんあれば利用したいと思う。 100円バスで鯖江市、越前市間を相互に乗入があれば便利だと思う。
鯖江	75歳以上	高齢になりバス停までの歩行が困難に感じるようになり、タクシーの利用が増えている。
神明	15歳以上	時間が分かりにくい。雨や雪など待ちにくい。濡れる。車をおいておくスペースは無料がよい。

地区	年齢	意見
神明	30歳代	路線をもっと分かりやすくしてほしい。自転車を積めるようにしてほしい。
神明	30歳代	駅周辺の無料駐車場の設置、拡大。 自転車、バイク専用の駐車場の設置、拡大。
神明	30歳代	小さい子供がいると迷惑がかかるのではと思い、利用を躊躇してしまう。
神明	40歳代	今後、高齢者が増え公共交通の利用も増えると思うので、利用者が快適に利用できるような細かい情報提供やサービスを強化する必要があると思う。
神明	65～74歳	福鉄水落駅の駐車場は大変重要である。ハーモニーホールの駐車場を利用して福井まで行ったことがある。 つつじバスを利用して、丸山町のマーケットに行っても帰りの便がないと聞いている。マーケットに着いて1時間後くらいに帰りのバスがあればよいと思う。
立待	30歳代	小中学生が利用しやすいように各小学校や中学校から発着する。図書館や総合体育館、サンドーム行きのバスがあると便利だと思う。(夏休み限定でもよい)
立待	40歳代	駅前は何もない。
吉川	15歳以上	駅周辺の駐車場の増設。
吉川	20歳代	仕事で高齢者の方と話すことが多いが、免許証の返納のタイミングを迷っている方が多い。また、交通事故等も仕事で扱っているが、高齢者の事故も増えている。高齢者の方は自分でも運転は危ないと感じながらも、つつじバスだと自家用車に比べて不便すぎると話しており、免許証の返納をためらっている。本人だけでなく高齢者の家族も巻き込んで早めの返納を推奨するとともに、つつじバスの本数を増やす等の対策が必要。
豊	50歳代	福鉄各駅周辺の駐車場確保と駅の近くにコンビニやカフェ等を誘致し、待ち時間の対応法を考えれば、もっと利用しやすくなる。
豊	60～64歳	つつじバスに運転手しか乗っていない。コストダウンのためにもっと小型化するとよい。高齢者をあまり優先する必要はない。それによって少子化に拍車がかかる。
豊	65～74歳	手押し車を持ち込んでもよいようにしてもらおうと乗る機会が増える。
北中山	60～64歳	きめ細やかな心豊かなサービス手段を。
北中山	75歳以上	温かみのある運転で安心。

<観光振興>

地区	年齢	意見
新横江	60～64歳	観光スポットの魅力をアピールし、地域の市民は元より他県民もJRと公共交通の利便性が図られるようになるとよい。
神明	15歳以上	サンドームでのコンサートに県外からの来客がある。みんなが通る道を活性化させ、観光面でも鯖江をアピールできる環境を整えるべき。

<JR>

地区	年齢	意見
鯖江	20歳代	雪や風ですぐ運休する。
神明	30歳代	北鯖江駅の跨線橋が無人だし、人気がないので夜気持が悪い。安心して利用できないので、安心して利用できるように改善してほしい。
中河	30歳代	たまにJRを利用すると、もっと便数を増やし、値段を下げるとよいと感じる。 個人的には、飲み会などでJRを利用するので、夜間の便数、最終便を見直すとよいのではないかと。飲酒運転の撲滅にもつながる。
中河	40歳代	JR鯖江駅のみどりの窓口の対応が悪い。新幹線開業後の並行在来線の鯖江の利便性を考えて、できるだけ鯖江駅で切符や定期券を買おうとしているが、窓口での対応者は多くても2人で窓口の対応者と後ろの事務所との間はブラインドが下ろされていて客がどんなに行列をしても窓口担当以外は見えないようになっている。客がさんざん待たされていても手助けにこない。これでは他の駅で購入したくなる。新幹線開業後JRは手を引くのだろうが、福井駅や敦賀駅と比べて対応は相当悪い。市から改善を促してほしい。

<福武線>

地区	年齢	意見
鯖江	15歳以上	電車の本数が少ないため朝の混雑が避けられない。
鯖江	65～74歳	車に乗れない者にとっては、福井鉄道はたいへんありがたいと思っている。土日のイベントの宣伝など、興味深い宣伝をするとよいと思う。
鯖江	20歳代	冬場など利用したいが通勤時間と合わない。福鉄の定期料金を下げて利用しやすくしてほしい。
鯖江	20歳代	朝夕の通勤時にとても混むので本数を増やすか、大きな車両を使用するとよい。
鯖江	40歳代	福鉄職員の接客スキルをあげる。
鯖江	50歳代	福武線の優先シートのマナーが悪い。つつじバスは、市民に活用されているとは到底思えない。
神明	15歳以上	福井の学校に通学するため、毎日福鉄を利用している。福鉄の電車は本数が少なく、車両も小さい。利用駅は急行が停車しないため、より少ない。混雑を避けようとした結果、早朝の便になり、家族の中で最も早く家を出ている。 帰りは30分に1本しかなく、部活動が少しでも長引くと乗り遅れてしまい非常に遅くなる。交通手段はこれしかないので我慢しているが、大変不便に感じている。
神明	20歳代	1時間に2～3本では本数が少なすぎてスケジュールに無駄が出る。それに料金が他の県などに比べても高い。使う気がとても起きない。料金を高くしてもどんどん利用者が減るのではないかと。学生は減らないけど子育て世代からクレームが出ること間違いなし。
神明	65～74歳	福武線の急行をなくし、普通を増やすべき。普通しか止まらない駅では30～40分以上待たなければならぬ時間帯がある。満遍なく電車は通ってほしい。
立待	50歳代	福武線は通勤・通学の時間帯のみの運行とし、経費を削減する。 他の時間帯は、デマンドバスにより対応する。 将来高齢化社会となり、自動車の運転ができなくなると公共交通が見直され利用者が増加すると考えられる。それまで公共交通を維持する必要がある。
吉川	50歳代	鉄道の鯖浦線の廃止が残念で仕方ない。線を伸ばすのではなく、環状線にしないと利用者は増えない。デマンドバスも基本ルートは環状ルートとし、必要な場所にバス停を設ける。
豊	50歳代	福鉄水落駅は、時刻表も時計もなく、いつ来るとも分からない電車を待つ間、非常に不安だった。同じく、神明駅は排水の匂いが酷くて不快だった。 JRの駅には、トイレトペーパーが付いていなかった。

<つつじバス（必要性）>

地区	年齢	意見
鯖江	60～64歳	舟津町に住んでいる。駅にもバス停にも遠く、スーパーにも遠く、買い物にも大変です。つつじバスのバス停が近くにあるとよいと思う。
鯖江	65～74歳	これからつつじバスを利用するときがくるので、絶対になくさないでほしい。
鯖江	65～74歳	75歳までは運転すると思う。その後は近くのスーパー等で買い物をし、病院は安価な公共交通機関を利用したいと思う。5年後にはつつじバスのお世話にならざるを得なくなる。
鯖江	75歳以上	現在は健康であるため自家用車を利用しているが、間違いなく将来運転ができなくなる。つつじバスの充実を心から期待している。バス停の場所も考慮してほしい。
神明	15歳以上	つつじバスは利用者が時刻に合わせているが、もっとアンケートをとってほしい。また、JRや福武線沿線に住む人は利用しやすいが、その他の地域の人には駅までの交通手段がなく、つつじバスが便利になるとよいと思う。（特に冬期）
豊	50歳代	つつじバスは、免許や車をもっていない子供や少年少女、お年寄りにとって大切な足であるため、継続してほしい。
北中山	65～74歳	いつも家の前を通るつつじバスは1～2名しか乗っていない。無人のときがほとんど。税金の無駄遣い。廃止すべきである。高齢者の通院や温泉施設、買い物に必要かもしれないが、ごく少数の人であるからタクシーを使ってもらえばよい。どんなに路線を細かく計画しても乗らないのだから。デマンド方式を取り入れているが、乗車率のUPには繋がっていないようだ。煩わしいだけ。赤字を少なくするためにも1回500円くらいにする。老人にも負担させる。路線の本数を1/3に減らして乗車を集中させる。
河和田	60～64歳	車の運転ができないので、このまま「つつじバス」の運行を継続してほしい。
河和田	75歳以上	収益は少ないかもしれないが、高齢者のため、コミュニティバスを継続してほしい。
河和田	75歳以上	通院のために継続を。 西山公園を中心に楽しめる乗り物に。 つつじバスがあるので独り暮らしの老人でも外出できる。運転手の方は乗降に配慮してくれる。住みやすい鯖江市には、つつじバスは絶対欠かせない。
河和田	75歳以上	私は一人暮らしなので車には乗れない。つつじバスで週2～3回買い物に出かける。つつじバスは必要不可欠です。
無回答	無回答	高齢になると公共交通を利用する。利用するならつつじバスになる。自家用車をやめた時。

<つつじバス（ルート）>

地区	年齢	意見
鯖江	60～64歳	つつじバスは本数が少ないので乗る機会がない。アルプラザ鯖江に行きたいと思っても結局行かない。まだベルの方が行きやすい。
新横江	30歳代	乗継がないように、長い距離を回って走るとよい。山の手線のように。逆回りもあると便利。
神明	75歳以上	現在利用している方の話によると、目的地までの時間が非常に長くかかるので、あまり利便性がよくないとのこと。例えば市役所に行きたいが、とても不便とのこと。今現在は自家用車（自分で運転）だが、これでは高齢生活になったら不安がある。
中河	75歳以上	鯖江の市街に近いのか、バスの便はあまりよくないので公共交通を利用できるようになればよい。
吉川	40歳代	路線の数を増やし細かな路線にする。他の路線との乗継をよくする。 （※以前、つつじバスを利用している老人の方が乗継が悪く、神明で30分以上待たなくてはならなくて、夏と冬が暑いやら寒いやらで困っていると聞いたことがある。） 子供が学生の時に、JRとの乗継が悪く、必ず冬は送迎が必要だったので、JR、福武線との乗継をよくする。

地区	年齢	意見
吉川	無回答	大きな道だけでなく、もう少し細い道を走るようにできないか。大きな道だと、そこまで出るのが大変。
河和田	50歳代	利用をしたいと思っても時間や行きたいと思う場所にたどり着くことが難しい。もっとコースを増やしつながりをもってほしい。
河和田	75歳以上	ワイプラザに買い物に行くが、つつじバスで嚮陽会館まで行けるものの、ワイプラザまでが遠く感じられる。特に雨が降ると帰りに傘をさして手に荷物を持つことが大変。ワイプラザの前までバスが行くようにしてほしい。
無回答	無回答	運賃を安くしないと使いにくい。つつじバスは旧鯖江地区や旧神明地区に住んでいる者には乗る機会が非常に少ない。これ以外の地域の人をもっと利用しやすいようにするとよい。旧鯖江地区や旧神明地区の主な場所(病院や役所)を巡回してはどうか。

<つつじバス(ダイヤ)>

地区	年齢	意見
鯖江	20歳代	学生のときは通学や見学等コミュニティバスを利用して助かった。ただし、乗り換えの時間の待ち時間が結構あったのが少し困った。
新横江	65～74歳	バスの本数が少ないため、利用できないことがある。つつじバスが分かりにくいので、目立つようにしてほしい。
神明	65～74歳	今は自分で運転できるため、公共交通は利用していない。利用しようにも時間が合わない。団地に住んでいるが、つつじバスがどこを走っているか分からない。市民が満足する公共交通にすることは本当に難しい。
中河	40歳代	つつじバスの土日祝日の運休便の見直し(土日祝日も平日の通りに運行)。平日の最終便をもう1本遅くまで増やしてほしい。
吉川	15歳以上	利用したい時間帯に限り利用できないことも多い。利用客数を時間帯別にカウントするなどして、ダイヤ編成を見直すのもよいと思う。
吉川	20歳代	つつじバスの運行時間を朝早くから夜遅くまでにする。運行本数を増やす。もっと乗継をよくする。
吉川	30歳代	バスの利用を考えると、1日2本しかない地域なら本数を増やすべき。
吉川	50歳代	鯖江市ではバスの本数が少ない。10～20分に1本はほしい。
吉川	65～74歳	つつじバスの運行時間帯を朝9時前後、昼12時前後に充実させてほしい。(病院通い)
北中山	40歳代	運行本数や路線が少ないため、通学でまったく利用できなくて困っている。料金はそのまま。
河和田	50歳代	河和田地区において高校生、その他の通学(帰り)はつつじバスの利用は不可能。もっと便数が増えれば(夕方以降)この地域の人口減少対策にも貢献できると思う。
河和田	50歳代	つつじバスについて、平日も回数を増やしてほしい。土日はそれ以上に増やしてほしい。

<つつじバス(バス停)>

地区	年齢	意見
鯖江	50歳代	バス停に屋根、イス等がなく、体の不自由な人は歩いてバス停に行けないし、行けたとしてもバスが来るまで立ってられない。福井市にあるショッピングセンターは入り口近くにバス停があるが、鯖江市のショッピングセンターは遠くにある。近くにするのはできないのか。
鯖江	75歳以上	(つつじバスの運行について)自宅からバス停まで遠いため一度も利用していない。もっと停留所の数を増やし、増便してほしい。自家用車を減らすにはバスの利便性を向上する。

地区	年齢	意見
新横江	50歳代	つつじバスのバス停が一目で分かるような表示をしてほしい。ドライバーからも分かるように…。場所が分かれば利用しやすい。
新横江	60～64歳	バス停からバス停までが遠い。家からバス停までが近いと利用する人も増えると思う。
神明	40歳代	バスの利便性を考えるのであれば、バス停の整備を進めるのが先ではないか。バス停に屋根をつけたり、段差なく安全に歩ける歩道の整備が必要。
立待	40歳代	近くに停留所がないため、不便を感じる。歩くには遠い。
吉川	60～64歳	家からバス停が遠く、家の前を通っていてもバス停まで行かなくてはならないのが…。利用者があまり乗っていない時などは、途中でも降ろしてくれると便利になる。
豊	30歳代	バス停に座って待つスペースをつくる。
豊	50歳代	アルプラザの裏の道のバス停で、炎天下つつじバスを待っている人を時々見かけ、気の毒に思う。雨や雪の日も同様。市の施設や病院のバス停のように、アルプラザの敷地内にバス停を移動するか、せめて屋根をつけてあげてほしい。
北中山	60～64歳	停留所が遠いため、もう少し、バス停が増えれば利用できる。停留所の雨、雪対策として屋根の設置が必要。
北中山	60～64歳	つつじバスの乗降場所が自由な区間の設定を求む。

<つつじバス（利用環境）>

地区	年齢	意見
鯖江	50歳代	鯖江市のつつじバス レッサーバンダの外観はとてもよいと思う。利用する機会はないが、通っているのを見るだけでも街の賑わいになる。一旦停止して道を譲っており、交通マナーもよい。好印象がある。
神明	50歳代	今後、高齢化社会になることを考えると、スーパー、ドラッグストア、ホームセンターに直行するバスの増加が必要になる。当日、利用の数時間前までに予約すれば利用できる等を検討してほしい。ワンボックスカー等の導入で少人数利用可にし、本数を増やせば利用者も増えるのではないかな。
豊	50歳代	駅周辺に無料もしくは安値で利用できる駐車場をつくる（増やす）と、JRや福鉄をもっと利用しやすくなる。病院や施設重視からもう少し視野を広げ、娯楽やショッピングの時間帯の便や路線が増えればもっと利用しやすくなる。
北中山	65～74歳	県道、市道等で停留所以外でも手を挙げれば乗車できるサービスも必要。ダイヤはそれを見込んで調整する。
無回答	無回答	つつじバスには、資金（市税）を投入して、介護のためタクシーを使うように、もっと障害者が乗りやすいバスにしてほしい。

<つつじバス（料金）>

地区	年齢	意見
鯖江	50歳代	バスも安ければ頻繁に乗ることができる。人口が少ないので難しいかと思うが、高齢者も多いし、年をとるとますます困る。
豊	50歳代	つつじバスの料金は安い。値上げの検討はしないのか。何回乗り継いでも100円は安すぎる。
河和田	30歳代	100円バスは、採算があわないことは目に見えている。世代別料金制にするのはどうか。バス営業時間外は、タクシー乗合制の新サービスがほしい。

<つつじバス（デマンド方式）>

地区	年齢	意見
鯖江	65～74歳	つつじバスが充実すれば福鉄バスとの重複は無駄となるため、一本化するとよい。 デマンド方式は、よい利用方法と思う。 利用人数が固定化して、大型バスは経費面で多くなる路線はマイクロバスなど小型バスに切り替える等がよい。
新横江	40歳代	利用者の多い路線や時間帯は路線運行でよい。デマンド方式の活用方法や鯖江独自の運行方法などを考えるとよい。
神明	50歳代	行きたい時間に行きたい場所に直接行けるのが一番利便性がよいので、「デマンド方式」を強化してほしい。バスだけでなく、ワンボックスカーを導入し、少人数に対応でき、台数も増やして急な予約にも対応できるようにしてほしい。

<つつじバス（情報）>

地区	年齢	意見
鯖江	20歳代	バスのチラシを配る。
新横江	60～64歳	J R列車時刻表のように各家庭に配布する。字が小さすぎたりいくつもの経路が一体になっていると高齢者にはわかりづらい。
神明	20歳代	つつじバスのルート検索をもっと見やすくしてほしい。市街から引っ越してきたので鯖江の地理もわからずその上ルートが見にくい。
神明	30歳代	つつじバスの早見表を配布。
神明	50歳代	福井鉄道は、よく利用している。でも、つつじバスは本数は少なく、行き先の経路があまり分からないから、ちょっと不便。利用の仕方が分かれば利用したと思う。
立待	65～74歳	終点場所や時刻表が分からない。
吉川	40歳代	つつじバスについて、バス停の場所、時刻などぜんぜん分からないので利用できない。

<その他>

地区	年齢	意見
神明	60～64歳	公共交通は利用しない。タクシーを利用する。
中河	40歳代	自家用車を運転する人は公共交通を利用することがほとんどない。公共交通を利用している人に意見を聞くべき。
中河	40歳代	公共交通を利用するより徒歩や自転車を利用するように努力した方がよいと思う。
立待	40歳代	バランスの取れた経営。少子化、核家族化対策が必要。
豊	60～64歳	鯖江テックスの交差点の事故が多発している。役所と警察で改善してほしい。毎朝毎晩危険。通学しているお子さんも危険。

(2) 高校生通学ルート調査

■公共交通について、よかったと感じている点

学校	意見
鯖江 高校	母子家庭と証明できればバスの運賃が無料となる場所 (つつじバス)
	電車は時間が決まっているため目安になる反面、行動が規制される。
福井 高専	ハニーの前 (反対側) に自転車の道ができてうれしい。
	レンタル傘とてもよい。

■公共交通について、改善すべき点

学校	意見
鯖江 高校	電車 (JR) の時間が少ない
	福鉄 (福武線) の本数を増やす
	自転車で車道を走れと言われても、狭くて走れないところがあって危ない。
	冬期、道に雪が多く滑りやすい
	土曜日でも第1便を利用したい。土曜課外や模試があるから。バスの便数を増やしてほしい。
	部活後の帰宅時間帯の電車を増やしてほしい。始発ももう少し遅めにしてほしい。(JR)
丹南 高校	バスの本数を多くしてほしい
	JRの本数を増やしてほしい。1時間に1本はきつい。
	バスの便を増やしてほしい (白山線)
	芝原5丁目から学校までバスを出してほしい
	自転車通学してほしい (熊田町)
	バスの本数が少ない
	つつじバスを利用したいが、始発に乗らないと間に合わない。便を増やしてほしい。
	バスの便を増やしてほしい
	もっとバスの便を増やしてほしい
	朝の通学バスをもう1本増やしてほしい
	融雪の水が歩道まで飛んでくるので改善してほしい
	電車、バスの料金を無料にしてほしい
	学校まで行くバスがない。バスの便数が少ない。(織田町)
バス通学したいが、時刻が合わず利用できない。	
福井 高専	自宅から駅まで遠いので、もっと近くに電車が通ってほしい。もっと頻繁に電車を運行してほしい。
	つつじバス豊線の8:51高専着のバスを8:50からのホームルームに間に合うようにしてほしい。
	折角、電車とバスがあるのに時間が合わないため、利用しにくい。
	橋の位置が中途半端。南側の工事はいつ終わるのか。駐車場、自転車小屋の拡大。
	JRの運行本数が少ない。次の便まで1時間以上待たされることもあり、非常に不便。
	橋の歩道が狭く、自転車同士の接触、自転車と歩行者の接触が多発している。
	JRの運行本数を増やしてほしい。
	バスがとても遅れる (京福バス)。土日の夜19:02からのバスがないので増やしてほしい。
	鯖江駅から学校までのバスの量が少ない。
	鯖江駅正面の坂道で、横の住宅から一旦停止を無視して出てくる車があり、接触しそうで危ない。
	高専に行く橋が少し狭く、自転車と歩行者が接触しそうになる。
	JRを30分に1本にしてほしい (16~21時) 敦賀行き。
	西鯖江駅から学校までのバスがほしい。バスが学校に着く時間がホームルーム開始時間に間に合わない。
	冬にバスを利用するとき、駅までのバスが遠回りのバスしかない。
	JRの運行本数が少ない。歩道が狭く、でこぼこなので自転車で走りにくい。夜とても暗い。
	越前町から鯖江までのバスがもっとほしい。交通手段が少ない。
クネクネ坂が多い。道が狭いところがある。	

学校	意見
福井 高専	もっとバスの本数を増やしてほしい。
	J Rの運行本数が少ない。定期をつくるのに、申請書を書くのが面倒。
	バス、電車の本数を増やしてほしい。特に鯖江駅からのバス。
	学校行きのバスの時間を改善してほしい。
	鯖江駅前のバスの時刻を変えてほしい。今の時刻だと、高専にバスで行けない。えち鉄とJ Rのダイヤをあわせてほしい。時間によっては30分待つことになる。
	J Rが使いにくい。J R鯖江駅－高専の路線バスを増やしてほしい。
	高専の近くに駅があるとよい。
	駅が近くにほしい。
	駅から学校が地味に遠い。
	道をもっときれいにしてほしい。
	J Rの運行本数を増やしてほしい。
	定期代が高い。鯖江駅から学校までが遠い。
	鯖江から芦原までの普通電車をもう少し増やしてほしい。
	J Rの普通電車を倍増してほしい。
	武生駅に行くより学校に行ったほうが早い。J Rと福鉄があって、坂を登ったり、下ったりが多い。
	冬期に鯖江駅から高専へのバスがほしい。(8:25発) 料金が安いので。
	駅から学校直通のバスを出してほしい。
	福井駅での待ち時間が長い。
	冬に鯖江駅から高専までの電車がほしい。
	駅から学校が遠い。
	鯖江駅から高専までのバスの便を増やしてほしい。
	福井駅での乗り換え待ちがだるい。
	越前市と鯖江市を結ぶバスがほしい。
	電車の乗り換えの待ち時間が長い時がある。福井市の電車の新快速をつくってほしい。運行本数が少ない。
	J Rを45分間隔で出発させること。
	駅が遠い。運賃が高い。
	駅と学校が遠い。市バスの時間が少ない。
	道がガタガタ。駅が遠い。冬の雪の時には無料のバスで駅に行きたい。
	駅が遠い。J R福井行きを増やしてほしい。歩道の信号待ち時間が長い。
	J R鯖江駅から高専までのバスの本数を増やしてほしい。J R北陸線の運行本数を増やしてほしい。J R鯖江駅に自動改札機を置いてほしい。
	鯖江駅に様式トイレを設置してほしい。トイレをきれいにしてください。
	バスの本数が少ない
	電車の本数が少ない
冬期に駅行きのバスを増やしてほしい。	
金沢行きの運行本数が少ないので、15～19時の電車は金沢行きにしてほしい。	
レンタル空気入れを設置してほしい。(鯖江駅)	
17～19時の間にあるJ Rの車両を増やしてほしい(敦賀行き)。	
J Rを30分に1本にしてほしい。えち鉄に座席が柔らかく座り心地の悪い車両があるので改善してほしい。	
敦賀駅から米原方面への電車が昼間がないことがつらい。	
鯖江駅に空気入れを設置してほしい(α1ホテル側)	
鯖江駅近くに安い自転車修理の店がほしい。自転車小屋を増設してほしい。	